

会 議 録

会議名		令和3年度 第8回 小金井市学童保育所運営協議会
事務局		児童青少年課
開催日時		令和3年11月25日（木）19時00分～20時00分
開催場所		本町暫定庁舎第一会議室及びオンライン会議
出席者	委員	鈴木委員長、下田副委員長、大澤委員、中山委員、鈴木委員、松川委員、田畑委員、田口委員、沢村委員、大島委員、大村委員、馬場委員、坊本委員
	事務局	野村学童保育係長（事務局）
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 次年度の学童入所予定児童数の最新見込み (2) 利用者アンケートについて (3) その他 3 閉会
配布資料		【資料3-23】 のびゆくこどもプラン 小金井（第2期） 【資料3-24】 のびゆくこどもプラン 小金井計画変更における量の見込みと確保の内容 【資料3-25】 放課後児童健全育成事業の入所児童数等について 【資料3-26】 計画期間の年齢別児童数の推計読み原稿
議事		1 開会 ・鈴木委員長より挨拶、議題の紹介 2 議題 (1) 次年度の学童入所予定児童数の最新見込み (市) 【資料3-23】 は、子ども子育て事業計画である「のびゆくこどもプラン 小金井第2期」修正案の抜粋である。下記の表において、令和6年までの量の見込みが示されている。こちらは、当初の見込み 【資料3-25】 の右側の表において示されていたところだが、 【資料3-26】 計画期間の年齢別児童数の推計のうち、表の中央「小金井市人口ビジョンによる推計B」が示されたことに

より、その数値を活用し算出したものが、【資料3-23】及び【資料3-24】計画変更における量の見込みと確保の内容となる。

(学)

資料の見込みの人数は、今年までの実績をベースに推計されたのか、実際に幼稚園・保育園の卒園生の人数を把握したものか。

(市)

資料の数値は、資料3-26をもとに作成している。小金井市人口ビジョンの令和4年の推計値をもとに、こちらで割り出して示している。アンケートの回収率がよくないことから推計のものを使用し、資料を作成した次第である。

(学)

アンケートや連絡は、保育園にしているか。

(市)

アンケートはとっていない。何年か前に学童の申請書を配布していた経緯があるが、今はやっていない。市報等で周知している。

(学)

学童別の数値も今後出てくるのか。

(市)

個別のところは出せない。入所申込みが終わった段階でお示しできる。

(学)

それが分かった時点で加配の人数がはっきりするか。

(市)

例年通りの対応でやっていく。

(学)

今後3・4年は学童の人数は変わっていくのか。

	<p>(市) 令和6年以降も、まだ増える要素はあるのではないかと、見立てはしている。</p>
	<p>(学) 第3学童を増やしていくのか。</p>
	<p>(市) 市の方では、施設の個別計画を作成した。学童を単独でつくることは難しい。学校施設を第3学童として使っていくこと、民間（民設・民営）の力を借りていくことで対応していく。</p>
	<p>(学) 基準はあるか。</p>
	<p>(市) 定員を40人を超えたら作ろうとすることを想定している。学校も教室が足りていない状況も考えられるため、教育委員会や関係部署と全体の状況を見ながら調整していく。</p>
	<p>(学) 計画から実際に運用するまでどれくらい時間を要するか。</p>
	<p>(市) 前例として、6月くらいから企画をして、9月以降に学校と調整していった。今後は、学校も教室が足りなくなることも想定されるため、調整が難しい。</p>
	<p>(学) 保育園は新しくできるが学童が増えないのはなぜか。</p>
	<p>(市) 建物を増やすことはハードルが高い現状がある。民間の力を借りることも必要になることも想定される。</p>
	<p>(学)</p>

教室が足りない現状と同時に学童施設の現状を合わせて考えることはできないのか。

(市)

仮設教室や一部校舎を建て替えることも想定される。また、それらの施設を使用させていただくことも考えている。

(学)

学童は学校の近くにあることが望ましい。早めに対策をご検討いただきたい。

(学)

各学童の耐用年数は大丈夫なのか。

(市)

公共施設の計画で示している。直近で、今年ほんちょう学童がトイレの改修を行う。建て替えまでの状況ではない。

(2) 利用者アンケートについて

(市)

この間、利用者アンケートについて、実施方法や頻度などについて、それぞれご意見を頂きながら、ここで話し合いを重ねてきた。11月に入り次年度の入所申請も始まり、これより7月～9月ごろに発生した新型コロナウイルス感染症による休所に関わる育成料の返還事務も始まることを考慮すると今年度中のアンケートの実施が難しいとの結論に達した。そこで、事務局から次年度実施に向けて話し合いを継続させてほしいとの提案である。次年度に向けてどのような形式でやるか、引き続き検討をしていきたい。

(学)

よりよいシステムを活用し、集計に時間をかけない方法で進めていくことが望ましい。

(市)

アンケートの実施方法については、今後検討させていただきた

	<p>い。</p> <p>(学) 来年度アンケートを取った後に議論することが大切だと考えている。次年度の早い段階でアンケートはとれないか。</p> <p>(市) アンケートの項目数を減らしたり、質問内容を精選したりして、忌憚のないご意見をいただきたい。</p> <p>(学) 委託事業者さん以外の学童でアンケートを実施する学童はあるか。</p> <p>(市) 今年度はあかね・さわらび・みどり学童の委託事業者さんの3つの学童だけではないか。</p> <p>(学) 委託先と市のアンケート内容を統一してはどうか。</p> <p>(学) 委託事業者さんのアンケート結果は市に提供されるのか。</p> <p>(市) 情報提供していただけるか確認してみる。</p> <p>(3) その他</p> <p>(学) 補助員の資格の件についても、今後補助員を入れるにあたって、引き続き学保連側も含めて話し合いを継続していきたい。</p> <p>(市) 補助員については、制度的な観点、数値的な観点から説明していかないと難しい。他地区においては、補助員を取り入れて、研修を</p>
--	---

	<p>通して育成している地区もある。</p> <p>(市) 基本配置は有資格者で固める。それ以上については、応募がない状況から無資格者を採用する。質の担保については、事前に面接をする、研修を行うなどして対応できるとよい。本件については、今後も、引き続きご意見いただきたい。</p> <p>(学) 受託者のアンケート実施予定などの情報があれば保護者と事前に共有してほしい。</p> <p>3 閉会 次回の小金井市学童保育所運営協議会は12月23日(木)を予定</p>
--	--